



ペマ・ギャルポのつぶやき

第1回 チベット問題の本質 再録

2010年12月7日配信



今回から皆さんに日頃私が考えていること、あるいはチベット問題などについてお話しをさせていただきたいと思っております。今日はまず最初に「チベット問題の本質について」簡単に語りしたいと思います。

幸いにして最近日本の国内においても、2008年北京オリンピックの聖火リレーの問題をきっかけにして多くの人たちが関心を持ち、そして今日支援をしていただいております。もちろん支援をする方々にはそれぞれの立場で、それぞれのチベット問題に関する理解に基づいてやっていただいていると思いますけれども、一番大きいのはもちろん「人権、人権擁護」という立場から支援をしていただいております。

しかしこのチベット問題は人権問題でもありますけれど、人権問題だとまだ各社会の中でも、あるいは場合によっては日本国内でも無いわけではありません。とくにチベット問題に関して言えば、その人権問題、そして「民族の自決権の問題」ということの側面もあることをぜひ知ってもらいたいと思います。

現在チベットは中華人民共和国によって甘肅省、雲南省、四川省、そして彼らが言う青海省、そしてチベット自治区という形で分割支配を受け、しかも自治とは名ばかりで事実上はかつての植民地の総督みたくに中華人民共和国の政府から派遣された共産党員が事実上支配をし、その背景にあるのは軍あるいはその軍勢力。「力」による支配であります。

現在もチベットでは1000人以上の人たちが獄中生活を送っております。そしてその彼らが獄中に入っているのは、決して人権の問題だけではなくて政治的な思想、祖国チベットの自由を求める人たちで、この人たちに対して北京政府側は分離主義者と一方的に決めております。

けれども、彼らが分離を主張しているのではなくて本来自分たちのものであったチベット、そこにチベット人が自らの自由意志によって、自分たちの将来を決め、自分たちの日常生活を、自分たちの価値観に基づいて生きたい、というごく当たり前の主張が侵略者から見ると分離主義者とレッテルを貼られ、そして今日も人々は昼間は私服の公安当局、夜は武装警察によって見張りを常につけられております。

そのような中において、チベットの人たちは現在もたくさんまだ政治犯としてチベットの中において「自分の国において他の民族によって刑務

所に入れられている」ということ。本質的な問題はやはり、中国からチベットに侵略してきたのであってチベットが中国に挑発しとかそういうものではないです。

21世紀。世界中の植民地が解放された。あるいは中において逆に今でも「共産主義、そして社会主義の下でチベット、ウイグル、あるいは内モンゴルなどは残念ながら植民地支配を受けている」ということをぜひ皆さんに憶えていただいて、そしてそこにあるのは単なる人権問題ではなくて人々の民族自決権が今、侵されているということをぜひ知ってもらいたいと思います。



●ペマ・ギャルポ Pema Gyalpo
1953年、チベット生まれ。1978年、上智大学国際学部大学院中退。1980年、ダライ・ラマ法王アジア・太平洋地区担当初代表。1997年、拓殖大学海外事情研究所客員教授。2001年、チベット仏教ニンマ派総宗門顧問。2005年、桐蔭横浜大学大学院法学研究科教授。

宗門顧問。2005年、桐蔭横浜大学大学院法学研究科教授。

「ペマ・ギャルポのつぶやき」の更新情報はこちらのページをご覧ください。※現在第9回まで配信中！
<http://www.youtube.com/user/pemagyalpo2010/>
http://rfuj.net/pema_gyalpo/

※質問募集中です！

これからの国際社会、アジアは？ 日本は？ ペマ・ギャルポ氏に聞きたいこと。ご質問はこちらのアドレスにお送り下さい→ pema_gyalpo@rfuj.net

中国政府はハダ氏と家族を釈放せよ！ 南モンゴル世界同時抗議
<http://www.youtube.com/watch?v=wFE4zpMnkFs>

南モンゴルに自由を!!
FREE INNER MONGOLIA



モンゴル人の権利を守ろうとしたため逮捕された、内モンゴルの人権活動家「ハダ」氏。2010年12月、15年の刑期を終え釈放されるはずだった。しかし、ハダ氏出獄の直前に、妻シンナさんの経営していた書店は強制的に閉鎖。シンナさんと息子さんも警察に拘束され、釈放されたはずのハダ氏も所在不明のまま。シンナさんの妹さんにハダ氏一家の写真が5枚届けられたが、それ以降情報は無い。

世界人権デー記念集会 国連大学前 劉曉波氏ノーベル平和賞受賞
<http://www.youtube.com/watch?v=ngwZquqWZUo>



劉曉波氏の釈放を!!
FREE Liu Xiaobo
釋放 劉曉波



2010年12月10日渋谷の国連大学前広場で行われた「世界人権デー」記念集会。呼びかけ団体は在日ビルマ民主化活動家、ビルマ市民フォーラム、ヒューマン・ライツ・ナウ、ビルマ情報ネットワーク、アムネスティ・インターナショナル日本。ウイグル人、ビルマ人、イラン人、エチオピア人、中国の民主活動家やチベット支援者、日本人権活動家等が集まって人権問題を訴えた。



日本ウイグル協会
Japan Uyghur Association
<http://uyghur-j.org>

FREE UYGHUR! ウイグルに自由を!

日本ウイグル協会は、在日ウイグル人と日本人支援者によって2008年6月に設立された団体です。世界ウイグル会議の傘下組織として、日本での東トルキスタン民族運動とウイグル地域の人権問題への理解を広めるために活動しています。



<http://afnj.org>

